

退職のご挨拶



過去に担当したリフォーム現場



人見建設と私

2015年1月人見建設を定年退職しました。人見建設での26年間は我が子の子育てから巣立ちのときに重なります。

入社2年前に生まれた長男はロボット工学を学び機械部品を設計する会社で働いています。長女が生まれた1ヶ月後、人見建設で働くこととなりました。その子も一昨年結婚し、昨年男の子をもうけました。次女は「お父ちゃんに家を建ててもらおう」が口癖で、小学生の頃には「玄関入ったら吹抜けで…」と図面を書き「こんな家になてな…」と言っていました。子供たちが小さいとき、休みの日などに施工中の建物を見せていたので家への興味があつたようです。その子も今春大学を卒業し、社会へ巣立っていきました。

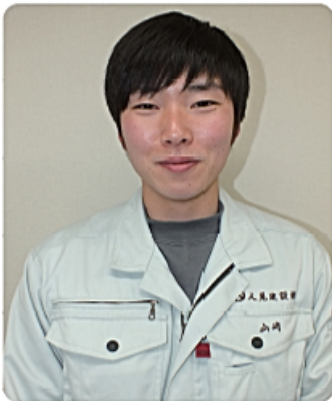
この子の夢を叶えてやれないのは残念…そんなお礼、長女たちとお母さんの住む家探しがスタートし、古家つきの地所を購入、昨年より2世帯で住める家の新築を人見建設に依頼しました。

2月26日棟上げ。当日はあいにくの雨。(余談ですが、私は大工さんの仲間内では雨男と言われており、棟上げに雨が降って当然と、なかばあきらめていました。)人見建設の大工さん、応援の大工さん、計6人が雨に濡れての作業です。

ベテラン大工の中川君、テキパキと作業を進めていく姿は実にカッコよく、ほれほれと見ていました。大工さんになるのが夢だったと言う入社1年目の拓君。一生懸命に動く姿はういういしくもすがすがしい。いい大工さんに育っていくだろうな。夕方5時頃、他の現場が早く終わったと言って応援に駆けつけてくれた中内君。少しでも力になろうとかけつけてくれた、その気持ち、とても嬉しかった。

建物は5月の完成を目指しています。今、桜が咲き始め生まれて5ヶ月の男の子がジジジを抱かれて笑ってます。この子が言葉を話し始め、動くことが分かったら「ジジジ何してたんだ」と問うとき、「人見建設で家を建ててんだ。」「ジジジすごい。」そんな会社であり続けますように。お世話になりました。 松田 聖

就任のご挨拶



高知県出身
1987年生まれ
2006年 人見建設(株)入社大工見習
2012年 一級建築大工技能士取得
2014年 二級建築士取得
2014年 木造建築士取得
2014年 現場監督就任

このたび、現場監督に就任することになりました山崎大嶽と申します。昨年まで約9年間大工をしていましたが、建築の仕事に対してもっと視野を広げて建築業に関わる施工や計画、法律関係等、たくさんの方を学び、将来的には一級建築士の資格を取得したいという思いがあり、今回就任させて頂くことになりました。

私は、現場監督という仕事を今まで間近で見てきたので、この仕事がいかに大変で難しい仕事かということもよく理解している方だと思います。お客様や業者様と打合せをして、現場の納まりを考え図面を書き、着工の準備をして作業者に内容の説明や指示等をしていく。その現場の中で見えている仕事でもこれだけあるのに、そういった現場を何件も抱えているとなると、その仕事量は計り知れないと思います。けれど、その中で自分が計画して築き上げた建物が完成した時の達成感と、お客様に喜んで頂いた時の笑顔を見ることが出来るこの仕事は本当にやりがいのある仕事だと思います。

今回、就任して間もない時に担当させて

頂きましたお客様で、町家の古い建物を福祉施設へと用途変更をして改修をするという工事をさせて頂いたのですが、申請等の不備が多々出てしまい工程通りに作業が進まなくなってしまい、お客様や周りの方々に大変なご迷惑をおかけしてしまいました。自分の未熟さを痛いほど理解し、これ以上お客様に嫌な思いはさせたくないという思いが固まった現場でもありました。なんとか無事に竣工できたのは、お客様や周りの方々が辛抱して下さいたからのもであり、説明下手な私に臨機応変に対応して下さいた業者様や大工さんのおかげです。皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この先もっとたくさんの経験を積み重ね勉強をし、どんな小さな工事でも全力で対応してお客様から信頼を頂き、いつまでも人見建設に工事の依頼や紹介等をくださるような繋がりを目指して大切にしていきたいと思います。まだまだ未熟者ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。

山崎大嶽

ナーシングケアホーム おとく

【お問い合わせはこちら】
ナーシングケアホームおとく
〒603-8149
京都市北区小山西上総町7番地
電話：075-411-9371
FAX：075-411-9372
【アクセス】
(公共交通機関)
京都市営地下鉄烏丸線
北大路駅下車
2番出口から徒歩5分

建築概要

構造：木造2階建て
施工面積：23.6㎡(7.17坪)
完成時期：2015年1月
現場監督：山崎大嶽

【人見建設に頼んでみて】

10年程前に人見建設さんで自宅を新築したのをきっかけに今回の工事を依頼しました。

古い京町家をケアホームに改修する工事で、難しい部分もあり、なおかつ今回の工事について打合せする者が複数いたため、監督の山崎さんは大変だったかと思いますが、一つ一つ真摯に受け止めて下さり、丁寧に対応して頂いた事で、本日開設を迎える事ができました。現場の職人さん達も業中、楽しく会話させて頂いたり、いろいろと良くして下さい感謝しています。

ナーシングケアホームおとく管理者
松久保 真美

【地域に根ざしたケアホーム】

介護が必要になった高齢者が、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるように、「通い」「訪問」「泊まり」の各サービスを一体となって提供する柔軟なサービスで、しかも緊急時の対応もできるため、慣れ親しんだ自宅で最期まで過ごしたいという願いを支えることができます。

私たちは、訪問看護ステーションを9年間行ってきた経験から、さらに地域になくてはならない新たな介護事業所を、地域の皆様と、新しい介護スタッフとともににつくっていきたくと思っています。そして、私たちは、介護福祉に働く人が働きがいを感じられる職場を作っていきたいと考えています。

(南)バインコーン 松久保 道徳

当日のお披露目 地域交流の様子



コーラス



木工教室



包丁研ぎ



お芝居



木工教室



人見建設表彰式